

サステナブルな物流の実現に向け、燃料電池大型トラックの走行実証を開始

ヤマト運輸株式会社は、2023年5月から水素を燃料とした燃料電池大型トラック（以下「FC大型トラック」）の走行実証を開始しました。FC大型トラックの走行は、日本で初となります。

近年、温室効果ガス排出量の削減など、サステナブルな物流の必要性が高まっています。国内商用車全体の温室効果ガス排出量は、全体の約7割※を大型トラックが占めている状態です。

このたび、トヨタ自動車株式会社と日野自動車株式会社が共同で開発したFC大型トラックを輸送業務に使用することで、水素燃料活用の可能性と実用性の検証を行います。

※ 日野自動車株式会社調べ（2023年3月末現在）

車両の特長

今回使用するFC大型トラックは、航続可能距離は約600kmで、環境性能と商用車としての実用性を兼ね備えています。水素を燃料とし、走行中に温室効果ガスを排出しないため、環境に配慮した車両です。

ヤマト運輸株式会社の取り組み

ヤマトグループは、サステナブルな物流の実現に向け、「2050年温室効果ガス自社排出量実質ゼロ」および「2030年温室効果ガス排出量48%削減（2020年度比）」を掲げ、2030年までにEV20,000台導入、太陽光発電設備810基導入、ドライアイス使用量ゼロの運用構築、再生可能エネルギー由来

●主な検証内容

運用面	実稼働におけるドライバーにとっての使い勝手
	水素ステーションでの充填時間を含む運行管理
車両開発	燃料電池システムおよび電動システム全般の作動検証
	環境や走り方の違いによる水素消費変化の把握と水素ステーションでの給水素情報の取得
	ドライバビリティ（車両の運転操作性）や使い勝手全般に関する情報の取得



電力の使用率を全体の70%まで向上する主要施策を中心に、各取り組みを進めています。

今回、FC大型トラックの走行実証を行うことで、FC大型トラック普及に向けた車両開発や、サステナブル社会の実現に貢献していきます。

インフォメーション

2023年3月期（第158期）事業報告映像を掲載



第158期定時株主総会（2023年6月23日開催）で投影した2023年3月期における事業概況の映像を掲載しています。一年間の取り組みをコンパクトにまとめた映像です。是非ご覧ください。



◀ 事業報告映像はこちらから
<https://www.youtube.com/watch?v=AXSatN18jIA&t=5>

「クロネコファミリーコンサート」 音楽宅急便のご案内

今年は全国5カ所での有観客開催にぐわえ、8月22日はライブ配信およびアーカイブ配信にてお届けします。音楽宅急便2023「クロネコファミリーコンサート」をおうちでもどうぞ、心ゆくまでお楽しみください。

音楽宅急便2023「クロネコファミリーコンサート」
 ヤマトグループ公式YouTubeチャンネルでライブ配信♪



◀ 詳しくはこちらから
<https://www.yamato-hd.co.jp/csr/society/education/concert.html>